

苫小牧市長 岩倉 博文 様

住民組織活動の推進に関する  
要 望 書

苫小牧市町内会連合会

## 令和7年度 住民組織活動の推進に関する要望について

苫小牧市におかれましては、これまで地域課題の解決に向けた要望に対し、多くの取組を頂いておりますことに、厚くお礼申し上げます。

本会では、時代が大きく変化する中で、地域にとって必要な組織の役割や在り方が問われていることから、新しい時代の連合組織として、生活様式や価値観の変化を認識しながら、課題の解決に向け取り組んでいます。

苫小牧市では、人口減少が進む将来においても持続できるよう、地域活動への参加と市民が主体となったまちづくりに、鋭意取り組まれておられると認識しています。

本要望に関しましては、町内会・自治会の連合組織として、共に支えあい健やかに、安全・安心で快適に暮らせるまちづくりに協力していく責務を果たしていくため、町内会の根幹的な役割である「住民の意見」や「地域の声」をまとめ、要望させていただくものであります。

これらの要望につきましては、本会といたしましても、運営の充実とあわせ、取組の充実及び発展に努めてまいりますが、町内会を取り巻く難しい環境をご理解いただき、様々な観点からご検討頂きますよう、お願い申し上げます。

令和6年11月19日

苫小牧市長 岩倉博文 様

苫小牧市町内会連合会  
会長 山端豊城

## 要望1 『街路灯・防犯灯の今後の在り方』

防犯灯の整備は、国が、闇における犯罪防止・公衆の安全を図る目的で、昭和36年に「防犯灯等整備対策要綱」を閣議決定したことを受け、同年から全国的に“明るい街づくり運動”が展開され、防犯灯が盛んに設置されるようになりました。

苫小牧市内においても、古くから各町内会による防犯灯の設置・維持管理が行われていると記憶していますが、町内会の規模や形態も様変わりし、生活環境や地域活動も多様化したことにより、防犯灯の維持管理の負担が年々増加しています。

苫小牧市では、平成27年度に公費で防犯灯をLED灯に一斉交換されましたが、灯具の保証期間満了を2年後に控え、令和8年度以降の更新が近づいています。

しかし、町内会の加入率は、令和6年に52%台まで減少しており、従来どおりの負担割合により街路灯更新を行うには、町内会負担が大きく厳しいものと考えます。さらには、物価高騰の影響もあり、灯具の設置・交換に掛かる費用も年々増大しています。

つきましては、市民の安全・安心を守るための防犯灯整備・維持管理について、町内会運営の厳しい実情や、町内会加入・未加入による不公平格差が生じないように、以下のとおり要望します。

- 1 今後の防犯灯整備・維持管理の在り方について、改めて市の方針・考えを町内会に示すこと
- 2 令和8年度以降の更新について、市の負担により実施すること

## 要望2 『生活環境の向上・充実』

近年、熊の目撃情報の増加や、鹿やアライグマの生息域拡大などにより、住宅街における鳥獣被害が続き、交通事故や採食被害などの問題収束が見えないことから、さらなる対策の強化を求めます。あわせて、犬の糞処理や猫への餌やりに対する注意喚起の対策強化も求めます。

また、樹木や雑草の繁茂・越境により、道路の中央分離帯や歩道の緑地帯における視界不良が発生しており、交通事故の発生につながる危険があることから、遊歩道や公園、街路樹の剪定や草刈の実施とあわせて、定期的な作業実施と早期解消を要望するとともに、空き家及び空き地における樹木・雑草の繁茂について、市から所有者に対する厳しい指導を求めます。

さらには、交通手段に限りがある高齢者が、通院等に困難をきたしている実情にある中で、市内バス路線の再編によって路線減便となった地域も出ていることから、今後、福祉バスの運行など、高齢者の足を確保するとともに、路線バスのさらなる利用者負担軽減を求めます。

### 要望3 『町内会活動支援策の充実』

町内会活動については、生活環境の大きな変化がもたらした影響は想像以上に大きくなり、地域活動にも格差が生じていると感じており、役員の高齢化の進行、町内会加入者の減少、物価高騰による負担増も収まる気配はなく、持続可能な町内会活動の先行きは、ますます深刻になっています。

このような状況を打破していくため、大きな収入増が見込めず、財源確保が厳しくなっている窮状をご理解いただき、町内会活動支援助成金と、活動拠点となる総合福社会館の整備補助について、制度充実に向けた見直しを要望します。

また、近年は町内会活動を支える役員の高齢化、高齢者の町内会退会、若年層の町内会離れが課題となっています。この課題解決につながるよう、アパートの会費徴収・管理会社への働きかけといった加入促進の対策強化を求めます。

さらには、町内会だけに限らず、各種取組で次世代の担い手確保が問題となっていることから、町内会から推薦している民生委員をはじめとした委員推薦の在り方を早急に見直すよう要望します。

#### 要望 4 『防災力・防犯力の向上』

地震や台風などの自然災害により、甚大な被害が全国で後を絶ちません。苫小牧市では、地域や季節によって求められる対応・行動も異なるため、実際に行動するときに不安を抱える町内会が多く、本会における大きな継続課題となっています。

津波発生時については、特に中高層の建物がない地域における、避難所の指定と、幹線道路や線路超えの避難ルート確保について、取組の強化と早期実現を求めます。

さらには、地域における日常的な備えの充実に向けて、町内会防災備蓄品購入補助の増額と、実際に避難行動する際の不安を少しでも解消できるよう、重点的に短時間で避難できる訓練の実施を求めます。

このほか、台風や大雨発生時における幹線道路の冠水被害が相次いでおり、市内の交通網に大きな影響を及ぼしていることから、早急な道路の冠水対策の強化を求めます。

また、地域における環境美化活動を定期的に展開しているにもかかわらず、ふるさと海岸や線路沿いの道路など、住宅街の付近でも不法投棄が繰り返されており、水質や土壌汚染などの環境汚染や被害をもたらす可能性があることから、防犯カメラの設置を求めます。